

総務省

デジタル活用支援推進事業

デジタル活用支援員・スマホ講習会について



一般社団法人写真整理協会
代表理事 浅川純子

日本のデジタル化がよいよ本格始動

- 2021年～10月10日「デジタルの日」創設
デジタルに触れ、使い方や楽しみを見つける日。
- デジタル大臣 牧島かれん
- デジタル庁
「誰一人取り残さない、
人にやさしいデジタル化」

デジタル庁 3つの柱

- 第一の柱
「デジタル田園都市国家構想」の実現
- 第二の柱
「データ戦略の推進」
- 第三の柱
「行政のデジタル化の強力な推進」

そしてデジタル庁肝いりの事業の一環が・・

デジタル活用支援推進事業

- 2020年12月25日に閣議決定した「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」で示された「誰ひとり取り残さない人に優しいデジタル化」に向けた取り組み



この事業の目的（課題・必要性）

- コロナ禍で「人と接触を避ける」**オンラインでのサービスの利用拡大**が求められている
※ワクチン接種の予約なども
- 電子申請自体を知らない高齢者も多く、**オンライン行政手続き**などの利用が進んでいない
※コンビニで証明書が取れるなど
- このため民間企業や地方自治体などと連携し、デジタル活用に不慣れな高齢者の解消に向け、**助言・相談などを実施**する必要がある

デジタル活用支援推進事業とは？

- 総務省が**2021年6月**から推進する事業
- デジタル活用に不安のある**高齢者**などを対象
- 全国1,800カ所程度で「**講習会**」などを開催
- 類型は2つ
 - 「**類型A**・**全国展開型**」
 - 「**類型B**・**地域連携型**」

令和3年度事業

- 「**全国展開型**」は携帯電話ショップを中心とした支援を早期に実施
- 「**地域連携型**」は地元ICT企業、自治体、社協等が実施主体となり、**地元市区町村と連携し**相談会・講習会を展開

今年度は、5か年計画の初年度

- 内閣府の調査では60歳代の25%、70歳以上の57%はスマホを使っていない
- 単年度では支援が行き届かない

全体構想（令和3～7年度）

▼総務省のデジタル活用支援推進事業

- 令和4年度以降は、**毎年度約5,000か所**で、**約30万回**の講習会を開催
 - ※令和2年度は全国11か所、3年度は1,000か所
- 令和3～7年度の5年間で**延べ1,000万人**の参加を目指す

全体構想（令和3～7年度）

▼国民運動としての取り組み

- 総務省の事業に加えて、他府省・地方公共団体・教育機関・NPO法人等と連携
- 国民運動として、若い世代が高齢者に教えることや、高齢者が気軽に何でも相談したり教えあうことができる場の提供といった幅広い取り組みを積極的に促していく

全体構想（イメージ図）



※スマートフォン等を利用できない60歳以上の高齢者の推計値 ⇒ 4,362万人中 2,022万人（令和3年1月 内閣府世論調査）

全体構想（令和3～7年度）

▼周知広報について

- 高齢者への影響力が大きい**テレビ・ラジオ**による政府広報の活用
- **デジタルの日**（令和3年：10月10日、11日）を盛り上げ、全国多くの場所で一斉に講習会等を開催する

2種類の団体（類型）を募集

事業実施団体は、以下の2類型とする予定（それぞれオンライン形式も可能）

（類型A）： 携帯キャリアのように、講習会等を行う拠点を全国に有している**全国展開型**

（類型B）： 地方公共団体と連携して、公民館等の公共的な場所で開催する**地域連携型**

類型A 全国展開型



- ✓ 既に講習会等を行う拠点を全国に有しており、当該拠点で支援を実施する主体
（携帯キャリア・携帯ショップを想定）
- ✓ 地方自治体等から支援員の派遣を依頼された場合には、可能な範囲で対応することも想定

類型B 地域連携型



- ✓ 地方公共団体と連携して、公民館等の公共的な場所で開催する主体（地元ICT企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター等を想定）
- ✓ 地域の多様な人材の活用を想定し、コミュニティの形成等にも貢献

講座の設定 (基本講座・応用講座)

<標準教材がある講座一覧>



①基本講座：7講座 (スマートフォンの基本的な利用)

- 電源の入れ方、ボタン操作等
- 電話のかけ方、カメラの使い方
- アプリのインストール方法
- インターネットの使い方
- メールの使い方
- 地図アプリの使い方
- LINEなどSNSの使い方

②応用講座：5講座 (スマートフォンによる行政手続等)

- マイナンバーカードの申請・利用方法**
- マイナポータルの活用方法、
カードの健康保険証利用
- マイナポイントの予約・申込み方法
- e-Taxの利用方法
- 医療機関におけるオンライン予約・診療

事業実施条件（地域連携型）

- 事業実施期間中、一つの市区町村及び近隣の地域内で「**25コマ以上の講習会**」実施
(1コマ = 1時間)
- 実施講座に応用講座「**マイナンバーカードの申請**」を含める
- **受講者4名ごとに支援員を最低1名配置**
(例：受講者20名ならば支援員5名)

実施スケジュール

令和2年度	令和3年度			
1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
<p>総務省</p> <p>★ → ★ → ★</p> <p>・執行団体公募 (2/9-3/10) ・決定 ・契約</p>	<p>4/1</p> <p>執行団体</p> <p>★ → ★ →</p> <p>・事業公募 ・順次採択、交付決定</p> <p>★</p> <p>・webサイト開設、標準教材の提供・更新、研修実施、自治体等と連携した周知広報</p>	<p>事業実施団体</p> <p>(類型A) ★ →</p> <p>(類型B) ★ →</p>	<p>事業実施団体</p> <p>・デジタル活用支援事業の実施</p> <p>・デジタル活用支援事業の実施</p>	

- 4月 1日：執行団体が（一財）日本データ通信協会に決定
- 4月23日：事業実施団体の公募を開始
- ※ 一次公募：～5月14日締切
- 二次公募：～6月18日締切
- 三次公募：所定の予算枠に達し、公募は終了

地元自治体との連携（地域連携型）

申請書類作成より**事前**に、地元や隣接の市区町村役所、地域団体と事業者の**連携**が必要

▼連携先の例

- 情報政策課
- 高齢者包括支援課
- 高齢者福祉課
- 社会福祉協議会
- 老人会・自治会

採択された団体（令和3年度）

▼一次公募

全国展開型：4キャリア（ドコモ、au、ソフトバンク、楽天）

地域連携型：21団体

▼二次公募

地域連携型：99団体

- 商工会
- シルバー人材センター
- 社会福祉協議会
- CATV会社
- 携帯代理店運営会社
- PC教室

デジタル活用支援員のための研修

- オンライン研修 3H+3H+1.5H

接遇+基本講座

- eラーニング 40分×5

マイナンバーカード、マイナポータル、
マイナポイント、e-tax、オンライン診療等

その他

● 補助金

市区町村の予算を使わず国の予算で実施。
経費・人件費などに出る。上限130万円。

● 講習の中身は、事業実施団体が決定

- 25コマのうちに1コマ「マイナンバー申請」を入れていれば、ほかは自由。
- 同じ講習を何度実施してもよい。
(受講者が同じ講座を何度受講してもよい。)
- 来年度はマイナンバー受講の条件のハードルが上がる可能性あり。

千葉県浦安市とパソコンプラザの事例

- 浦安市高齢者包括支援課の方と打合せ
- 浦安市共催、という形で実施
- 広報うらやすに掲載
- 市役所HPに掲載
- 講座内容のすり合わせ
- 配布チラシのすり合わせ（独自の周知活動）
老人クラブ、自治会、支部社協等

千葉県浦安市とパソコンプラザの事例

様式3号

利用者向けデジタル活用支援推進事業（地域連携型） 事業全体概要図 1/2

申請者名	株式会社スノー・カンパニー パソコンプラザ
------	-----------------------

体制 企画：株式会社スノー・カンパニー パソコンプラザ、浦安市
実施：株式会社スノー・カンパニー パソコンプラザ
実施予定場所：浦安市内公民館全4か所、市民プラザ、自治会、老人会、支部社協等

講習会等の実施計画

- ・ 基本講座 : 26コマ
- ・ 応用講座 : 6コマ
- ・ 相談会 : 4回

基本講座

	電源の 入れ方等	電話の かけ方等	アプリ 等	ネットの 使い方等	メール等の 使い方	地図アプリの 使い方	SNSの 使い方	オンライン 会議	安心・ 安全
実施コマ数			4	4		4	4	10	

応用講座

	マイナンバー カード	マイナポータル	マイナ ポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	1					5

(注) 地域オンライン行政には、キャッシュレス決済を含む

支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数	相談会
17	9	26	6	4

講座の設定 (基本講座・応用講座)

<パソコンプラザの講座> (2時間)



①基本講座：7講座
(スマートフォン等の基本的な利用)

QRコードの
読み取りも

- 電源の入れ方、充電操作等
- 電話のかけ方、**カメラの使い方**
- アプリのインストール方法
- インターネットの使い方**
- メールの使い方
- 地図アプリの使い方**
- LINEなどSNSの使い方

②応用講座：5講座
(スマートフォンによる行政手続等)

●**マイナンバーカードの申請・利用方法**

自分で情報を
取れるように

マイナンバーカード
でできること

- マイナポイントの予約・申込み方法
- e-Taxの利用方法

災害時にも
家に徒歩で帰れる

できるオンライン予約・診療

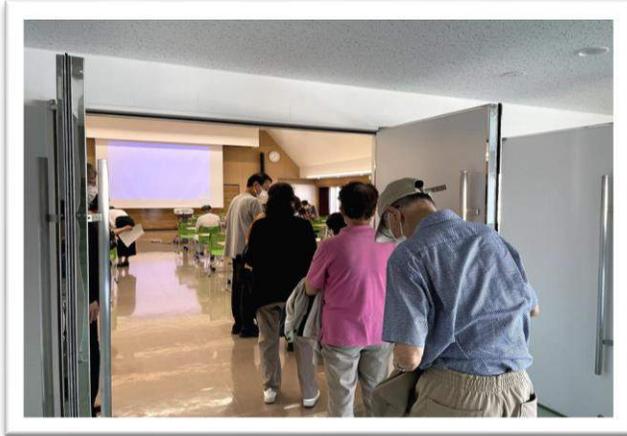
申込

- 2/3が電話で申し込み
- メールアドレス・機種がわからない

講習会の様子 2021/10/4 浦安市とパソコンプラザ



講習会の様子 2021/10/4 浦安市とパソコンプラザ



- 200人部屋で35人に絞った
- フェイスシールド装着
- 講座のためにスマホを買った初心者も
- 年齢さまざま



受講者4名ごとに支援員を最低1名配置



- 同じ内容の講座を毎回実施
- 2回～3回参加する人がいた



パソコンムプラザ増田由紀先生の感想

- 一つでもできることが増えてくれるとうれしい
- 誰一人取り残さないは難しい
本人のやる気・講師陣の熱い気持ち
- こんな身近なことができてほしい
 - ✓ QRが読めた
 - ✓ ワクチンの申込みが市役所のホームページからできた
 - ✓ 緊急地震速報があった時に、NHKのテレビからQRで情報を得られた
 - ✓ スマホで警報を受け取って意味がわかる